

一般質問

選挙公約の実現について

Q 実現目標を4年でゴールという分野に「小中学校の一貫教育の推進と学校配置の見直し」とありますが、「学校配置の見直し」は具体的にどのような意味なのか、また、ここ数年、課題となっている、「学区の再編」との関連性について市長のご見解を伺います。

A 現時点では、南部開発の開発に伴う計画の中で人口の動向が読みきれない状況であり、今後、長期的な展望の下に広く関係者の意見を聞くと共に市長部局と連携し、検討を進めたい。(部長答弁)

●和宏の考え・意見

再質問で、再度「市長の考えを」と問い直すと、今度は「教育長」が答弁!(素晴らしい結束力!)(笑)

教育長の答弁を精査すると、この4年間の間で、「学区の再編」「学校配置の見直し」について何らかの方向性が示される可能性があると私は感じました。

◎平成二十二年育てる会の日帰り旅行の日程が内定しました。六月六日(日)今年もバスの台数を増車する予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。(詳細は次号で)

	平成22年度	平成27年度
大瀬小	516名	913名
中川小	223名	249名
大原中	706名	863名
潮止中	166名	206名

現在、駅周辺の開発が進み、近隣の小学校・中学校(大瀬小・大原中)の今後の児童・生徒数が大きく増加することが予想されています。

※上記のデータは教育委員会が作成したデータであり、あくまで「見込み」です。

一方、他の学校では、全校児童・生徒数が(160人〜250人)という学校もあり、市内で、かなりの児童・生徒数の「格差」が生じています。

学区の再編について実施する場合、当事者間で解決する問題がかなり多く、大きなテーマだと私は認識しています。だからこそ、「市長の公約だから…」と性急に進めるのではなく、現場の声(保護者・地域の人々)を最優先尊重し、今後進めていきたいと思います!「強く」要望しました。(小中一貫教育導入時のような進め方はNGです!)

Q 「2年でゴール」の分野で、「(仮称)学校元氣プラスワン支援制度」を創設と明記されていますが、どのような制度を考えているのか、伺います。

A 教員の人材育成の視点と児童生徒の視点から、退職した教員を市で採用する予定。

高齢者見守りサービスの実施について

Q 千代田区では、新聞事業者と連携し、一人暮らしで65歳以上の区民を対象に「単身高齢者見守りサービス」を実施しています。本市でも、同様なサービスを希望者に

対して実施してみてもどうかと思いますが市の見解を伺います。

A 現在、市が実施している「見守りサービス」と併せて今後、検討する。

市民参画について

Q 市が実施している各種審議会の開催時、傍聴を希望する参加者に対して、当日の議題等の資料の配布、貸出しについて、統一がされていない状況になっています。傍聴される方に、より会議の論点等を理解していただくために資料等の配布の指針が必要だと考えますが、市の見解を伺います。

A 基本方針による会議公開の原則の趣旨を十分に踏まえて適切に対応するように周知徹底する。

行財政改革について

Q 市長の所信表明でも触れていましたが、「行政評価制度」の充実について、今後、具体的にどのように進めていくのか、また話題となっている「事業仕分け」の実施について、市の見解を伺います。

A 今後、行政評価について、成果志向の行政運営が可能になるようにさらに充実していく。

事業仕分けについては「調査研究」したい。

傍聴

うおちゃん!!



○朝田議員3期目最初の議会ということで傍聴に行きました。

一般質問では特に重点をおいた項目の質疑は執行部の対応を鋭く正す場面もあり日頃の調査研究の成果もですが議会の重要機能である市政執行のチェックを充分に果たしているのだと実感しました。

しかし、市長マネIFESTに対しての質疑に対し市長自ら答弁されないというのは納得できませんでした。自治体によって違いはあると思いますが…。上田知事の「市政というのは首長次第で決まる」という言葉を聞いた後だっただけにやはり自分の出されたマネIFESTなので責任をもって答弁してほしかったですね。朝田議員今後とも市政の監視役として頑張ってください。

